

## テキストデータ

幸区は、令和4年に50周年を迎えました。  
これから、幸区の今と昔の様子を振り返りたいと思います。  
まず初めに今の様子を見ていきましょう。

空から見た幸区です。川崎駅周辺と鹿島田駅周辺です。

区内では、四季折々の自然を楽しむことができます。

市内で唯一の動物公園があり、憩いのスポットとなっています。

さまざまな場所で歴史に触れることができます。

住民同士の交流が盛んで、活気にあふれています

このように、区内には様々な魅力があります。  
ここからは、50年の歴史を簡単に振り返ってきたいと思います。

昭和47年に幸区は誕生しました。現在の庁舎は、平成27年に建て替えを行い、耐震性や環境にやさしい庁舎へ進化を遂げました。

幸区が誕生した年に、夢見ヶ崎動物公園が開園しました。  
現在、約55種類・300頭以上の動物を見ることができます。

昭和45年に矢向から多摩川を結んでいた南武線川崎河岸(かし)線が廃止され、その跡地にさいわい緑道が敷設されました。

昭和52年には県下初の市立武道館として石川記念武道館が開館しました。昭和60年には幸スポーツセンターがオープンし、スポーツを通じた様々なイベントが行われています。

昭和56年の区民祭の開催以降、多くの区民が集い、賑わうイベントとして親しまれてきました。令和4年には第40回を迎えます。

明治精糖や明治製菓などの工場跡地に、川崎市産業振興会館やソリッドスクエアなどがオープンしました。

平成7年に開校した川崎市立看護短期大学は、令和4年に川崎市立看護大学に移行しました。

東洋一新鶴見操車場の跡地の一部が「新川崎・創造のもり」地区となり、最先端の研究・開発が行われています。

赤レンガ倉庫があった旧国鉄変電所跡地にミュージア川崎シンフォニーホールがオープンしました。音楽のまち・かわさきの象徴として川崎市フランチャイズオーケストラの東京交響楽団から市民合唱団まで幅広い活動が行われています。

東芝堀川町工場跡地にラゾーナ川崎プラザがオープンしました。川崎駅直結の大型ショッピングモールです。

かつて小向にあった東芝科学館が、平成26年に現在のJR川崎駅前へ移転し、東芝未来科学館としてリニューアルオープンしました。

令和3年に川崎駅西口にオフィス棟、商業棟、ホテルからなるカワサキデルタがグランドオープンし、川崎駅西口に更なる賑わいを創出しました。

そして…

幸区は区制50周年を迎えました。

幸区はこれまで

一人一人の手によって紡がれ、

成長してきました。

そして

つぎの未来へつなぐ

幸せの想いをつなぐまち心のふるさと さいわい